

# 施策評価調書(1)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	4 魅力ある農業の振興
施策関係課	(経済部)農政課・グリーンセンター／(農業委員会事務局)農業委員会事務局

●施策の基本方針(目標)
歴史と伝統を誇る植木を中心とする花きや野菜といった本市の農産物(生産地)のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みをつくることで、都市農業の振興につなげていきます。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅲ－4)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	49.9(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	49.500	47.200	47.400	44.600	0.000	
指標②	名称	市内総生産額(農業)				単位	百万円
	目標値	県内市町村における伸び率を上回る(令和7年度)	現状値	1,516(平成29年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	1,373.000	782.000	716.000	769.000	0.000	
指標③	名称	市民農園区画数				単位	区画
	目標値	951(令和7年度)	現状値	741(令和元年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	820.000	918.000	873.000	857.000	0.000	
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	320,406	354,328	378,276	396,734	410,913
	概算人件費	120,317	118,426	150,811	156,006	151,558
	総事業費	440,723	472,754	529,087	552,740	562,471

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 50	単位施策② 52	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			51.0	

# 施策評価調書(2)

評価対象年度 令和6年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 都市農業の振興								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
農政審議会経費	経済部	382	344	293	184	264	50	現状維持で実施
	農政課	5,925	4,620	3,160	4,860	4,980		
農業改良普及事業	経済部	3,165	4,756	4,795	4,902	5,300	54	縮小して実施
	農政課	5,530	4,235	6,320	7,290	6,225		
農業施設設置助成事業	経済部	0	0	0	0	700	39	現状維持で実施
	農政課	1,975	1,925	2,370	1,620	830		
農業経営改善事業	経済部	54	17	37	17	73	48	現状維持で実施
	農政課	2,370	2,310	1,975	2,835	1,660		
園芸振興事業	経済部	1,036	5,199	5,323	5,155	2,300	54	縮小して実施
	農政課	2,370	2,310	2,370	2,430	1,660		
川口緑化センター指定管理者管理運営費	経済部	145,477	144,936	147,556	160,923	168,575	50	現状維持で実施
	農政課	1,975	1,925	2,212	2,430	2,490		
植物取引センター指定管理者管理運営費	経済部	22,025	22,463	20,751	21,031	21,746	46	現状維持で実施
	農政課	1,580	1,540	1,817	1,863	1,909		
明日の農業担い手育成塾事業	経済部	—	1,881	5,918	816	5,388	48	現状維持で実施
	農政課	—	3,080	4,345	4,050	3,735		
地域計画策定事業	経済部	—	—	327	91	—	40	完了
	農政課	—	—	1,738	1,620	—		
農業金融対策事業	経済部	2	2	2	1	736	48	現状維持で実施
	農政課	2,370	2,310	2,765	1,620	830		
グリーンセンター施設運営費	経済部	27,557	36,086	39,075	34,746	35,256	52	現状維持で実施
	グリーンセンター	1,659	1,617	1,659	1,701	1,743		
イベント広報事業	経済部	2,068	2,033	2,025	6,015	4,238	54	現状維持で実施
	グリーンセンター	31,600	30,800	31,600	32,400	33,200		
わんぱく広場遊園事業	経済部	41,628	43,599	48,196	51,562	48,142	54	現状維持で実施
	グリーンセンター	11,850	11,550	11,850	12,150	12,450		
植物園花木展示事業	経済部	71,694	87,637	92,078	99,864	109,103	56	現状維持で実施
	グリーンセンター	39,500	38,500	63,200	64,800	66,400		
農地基本台帳管理費	農業委員会事務局	1,705	1,497	1,738	1,583	1,334	54	現状維持で実施
	農業委員会事務局	3,555	3,465	4,108	3,240	3,320		
農政関係広報事業	農業委員会事務局	166	168	240	303	283	52	現状維持で実施
	農業委員会事務局	1,738	1,694	1,817	1,377	1,411		

単位施策名 ② 都市農地の保全								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
地域農業活性化事業	経済部	3,416	3,626	9,796	9,450	7,330	54	縮小して実施
	農政課	5,135	5,390	5,135	7,290	6,225		
農業体験事業	経済部	31	84	126	91	145	50	現状維持で実施
	農政課	1,185	1,155	2,370	2,430	2,490		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	農政審議会経費				担当	経済部	
						農政課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	0482599020	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	53	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市農政審議会条例、川口市農政審議会規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	農業関係者等を対象に、農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図る。環境変化や農地保全の課題解決、地域農業振興を図るため、農業情勢の共有と意見交換を行う農政審議会を開催する。		農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	農政審議会の開催		農政審議会を開催し、農業情勢の共有を図り、農業行政の推進について、意見交換等を行った。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
		川口農業ブランド制度に係る第三者評価組織として、制度運用及びブランド申請農産物に対し意見聴取を行い、当該ブランド制度の精査・拡充をはじめとした農業振興施策を議論した。	現在、一部地域での人材確保や農地集約化が課題となっている。川口農業ブランド制度は運用が進む一方で認知度や市場展開の成果が十分ではなく、制度活用の見直しと関係者の連携強化が求められる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	2 目	2 細目	1 細々目	農政審議会経費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		728		570		461		264		264
決算額(B)=(C)+(D)		344		293		184				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	344		293		184		264		
概算人件費(E)		4,620		3,160		4,860		4,980		4,980
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.40	0.00	0.60	0.00	0.60 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)			4,964		3,453		5,044		5,244

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	川口農業ブランド制度をはじめとした農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図るため、引き続き農政審議会において必要な調査及び審査を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	農業改良普及事業				担当	経済部
						農政課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業改良普及事業交付金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	都市化の進展に伴う生産環境の変化や急速に発達した情報化時代に対応するため、農業生産及び経営技術の向上並びに意欲ある農業後継者育成等を推進し、都市農業経営の確立及び発展を図る。	都市農業経営の確立及び後継者育成等に資する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	農業関係団体等が実施する事業に対して、交付金を交付した。	・川口市花の文化展開催事業に対する支援 ・特産農業推奨事業に対する支援 ・農業後継者育成事業に対する支援 ・農産物産地化モデル事業に対する支援 ・都市農業経営支援事業に対する支援	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	農業生産及び経営技術の向上。	近年、補助対象事業の縮小や中止が相次いでいる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市花の文化展来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮 (令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		1,000.00		1,700.00		1,700.00		1,900.00	
	実績値・達成状況	1,662.00	達成	1,707.00	達成	1,902.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	1 細目	3 細々目	農業改良普及事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		5,600		5,600		5,500		5,300		5,300
決算額(B)=(C)+(D)		4,756		4,795		4,902				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	4,756		4,795		4,902		5,300		
概算人件費(E)		4,235		6,320		7,290		6,225		6,225
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.55	0.00	0.80	0.00	0.90	0.00	0.75
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		8,991		11,115		12,192		11,525		11,525

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	ニーズに合った事業内容の検討並びに農業者及び農業関係団体に対して制度の周知が必要である。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	農業施設設置助成事業				担当	経済部	
						農政課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業施設設置助成事業助成金交付要綱、農業施設設置助成事業助成金交付基準					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	営農意欲のある農業者等が、園芸施設等を設置することで経営の改善及び近代化の推進による、付加価値の高い農業の振興を図る。	土地利用型農業から施設利用型農業への移行を推進し、都市型農業の振興に資する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	HP、農業だよりで制度の周知を図った。	農業者からの申請はなかった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	なし。	申請がないことから、周知方法や制度が農業者のニーズに合っているかの見直しが必要である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		6 款	1 項	4 目	1 細目		2 細々目		農業施設設置助成事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
予算額(A)			750		750		700		700		700				
決算額(B)=(C)+(D)			0		0		0								
財源※	特定財源(C)		0		0		0		0						
	一般財源(D)		0		0		0		700						
概算人件費(E)			1,925		2,370		1,620		830		830				
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.25	0.00	0.30	0.00	0.20	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00		
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			1,925		2,370		1,620		1,530		1,530				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
39 /60	農業者のニーズに合った事業内容へ見直しを検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	農業経営改善事業				担当	経済部 農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	11	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	認定農業者、認定新規就農者に対し、市の基本構想に基づき効率的かつ安定的な農業経営体を目指して、自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者を支援する。		意欲と能力のある農業者を育成し、農業経営の改善を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	埼玉県職員及び農協職員の参画のもと、農業経営改善計画の認定を行うとともに、農業経営の向上などを目的とした研修会を開催した。		・農業経営改善計画の認定 新規 2件 更新 2件 変更 2件 ・農業経営改善研修会の開催 令和7年3月28日(金) 16:00～18:00 18人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	目標が明確になったことにより、自らの農業経営を改善しようとする意欲が向上した。		意欲と能力のある農業者が進んで経営改善計画を作成し、市や県主催の研修に参加している姿が見受けられる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	農業経営改善研修会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	認定農業者数の3分の1				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	11.00	未達成	14.00	未達成	18.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	2 目	3 細目	1 細々目	農業経営改善事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		70		70		71		73		73
決算額(B)=(C)+(D)		17		37		17				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	17		37		17		73		
概算人件費(E)		2,310		1,975		2,835		1,660		1,660
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.25	0.00	0.35	0.00	0.20 0.00 0.20 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,327		2,012		2,852		1,733		1,733

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
48 ／60	令和2年4月からの制度改正により、営農地によって認定農業者の申請先が細分化されたため、県等の認定庁と連携を取りながら、円滑に事務の執行ができるようにする必要がある。特に、認定期間の更新を迎える認定農業者に対しては、制度周知を含め、計画的に再認定に係る事務を進める。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	園芸振興事業			担当	経済部 農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、園芸振興事業交付金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	産地間競争の激化による価格競争や生産及び流通機構の変化等に伴う厳しい農業経営環境に対応するため、市内特産園芸団体の生産及び販路拡張を図る。		植木を中心とする花きの生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張や、特産園芸の普及宣伝を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	農業関係団体等が実施する事業に対して、交付金を交付した。		・川口市安行の花・緑と物産展示即売会開催事業に対する支援 ・並木元町公園花植木市開催事業に対する支援 ・展示・即売会参加事業に対する支援 ・展覧会等参加事業に対する支援	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	経済的負担が軽減され、展示・即売会等のイベントに参加しやすくなり、販路拡張に繋がった。		近年、補助対象事業の縮小や中止が増えている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	安行の花・緑と物産展示即売会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮 (令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)(令和7年度より未開催)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		17,500.00		6,500.00		15,300.00		0.00		0.00	
	実績値・達成状況	6,286.00	達成	15,378.00	達成	8,261.00	未達成				
指標②	名称	並木元町公園花植木市来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮 (令和3年度からは前回実績値と同程度を目標値とする)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		4,800.00		3,500.00		3,600.00		1,600.00		1,600.00	
	実績値・達成状況	3,548.00	未達成	3,621.00	達成	1,691.00	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	1 細目	2 細々目	園芸振興事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		5,700		5,700		5,700		2,300		2,300
決算額(B)=(C)+(D)		5,199		5,323		5,155				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	5,199		5,323		5,155		2,300		
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		1,660		1,660
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.20	0.00	0.20 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,509		7,693		7,585		3,960		3,960

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	ニーズに合った事業内容の検討並びに農業者及び農業関係団体に対して制度の周知が必要である。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	川口緑化センター指定管理者管理運営費				担当	経済部	
						農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	0482599020	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口緑化センター設置及び管理条例、同施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民と農業者を対象に、川口緑化センターを指定管理者が運営し、植木・花き等の特産農業振興を図り、自然環境の保全と地域社会の発展に寄与することを目的とする。背景は特産農業が地域産業として重要な点である。		指定管理者により川口緑化センターを管理運営することで、植木を中心とする花き等、本市の特産農業の振興を図り、豊かな自然環境の保全及び地域社会の発展に寄与する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	指定管理者による管理運営 ・各種講習会、園芸相談及び展示会の実施 ・市民が園芸を体験できる事業の開催 ・会議室等の貸与 ・施設の維持管理及び軽易な修繕 ・物品販売		・市民及び農業者向けの講習会及び体験事業等の実施(前年同等以上)。 ・施設貸与の利用件数が前年同等以上を維持し、地域活動を効果的に支援。 ・物品販売を通じて地域特産品への理解促進が行われ、多くの市民に情報提供できた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・市民及び農業者における特産農業への理解や関心が高まり、農業振興が更に進んだ。 ・緑化活動や園芸の楽しさを直接体験する機会が増え、自然環境への意識が向上。 ・特産農業振興を中心に地域社会の活性化が促進された。		緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、特産農業の振興及び地域社会の発展に寄与している。一方で、緑化推進や特産農業の普及活動について、新しいPR方法の導入が重要である。施設設備の老朽化に向けた長期的な修繕計画と予算確保が課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	2 細目	3 細々目	川口緑化センター指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		144,936		147,556		160,923		168,575		168,575
決算額(B)=(C)+(D)		144,936		147,556		160,923				
財源※	特定財源(C)	7,818		7,618		7,143		7,718		
	一般財源(D)	137,118		139,938		153,780		160,857		
概算人件費(E)		1,925		2,212		2,430		2,490		2,490
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.28	0.00	0.30	0.00	0.30 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		146,861		149,768		163,353		171,065	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
50 ／60	施設の長寿命化のための修繕計画を策定し令和4年度より実施しているが、予算の制約が大きく最低限の実行にとどまっているため、計画の見直しが必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施



実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	植物取引センター指定管理者管理運営費				担当	経済部	
						農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	0482599020	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	24	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市営植物取引センター設置及び管理条例、同施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民及び農業者を対象に、植木を中心とした花きの生産と流通の円滑化、並びに取引の適正化を推進することを目的としている。背景には、花きや植木の生産が地域に根付いた重要な特産農業として位置づけられている。		指定管理者により川口市営植物取引センターを管理運営することで、植木を中心とする花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化を促進するとともに、特産農業の振興を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	指定管理者による管理運営 ・花き及び植木等の生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・施設の利用許可の管理、調整 ・施設の維持管理及び軽易な修繕		緑化団体との連携により、せりを実施した。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
		花き及び植木生産者・流通事業者にとって取引業務の円滑化が促進された。	緑化団体と連携している(公財)川口緑化センターが指定管理者となることで、効果的で効率的な施設運営がなされ、花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化が促進され、特産農業の振興が図られている。課題は、施設の高度な修繕や改良に関する計画検討が不足しており長期的な予算確保と施設改善に向けた課題整理が求められている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	2 細目	5 細々目	植物取引センター指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		22,463		20,751		21,031		21,746		21,746
決算額(B)=(C)+(D)		22,463		20,751		21,031				
財源※	特定財源(C)	6,697		7,018		7,624		6,378		
	一般財源(D)	15,766		13,733		13,407		15,368		
概算人件費(E)		1,540		1,817		1,863		1,909		1,909
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00	0.23 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		24,003		22,568		22,894		23,655	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
46 /60	施設の老朽化が激しく、今後の施設のあり方を考える必要がある。引き続き、川口緑化センターも含めた周辺整備計画を検討していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	明日の農業担い手育成塾事業				担当	経済部	
						農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	一定の農業技術を有する新規就農希望者を塾生として受け入れ、実践研修を実施する。		市内での農業の担い手の確保・育成を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	研修指導員を設置し、研修用農地において実践研修を行った。また、研修に必要な資材等の支援や、販売先確保のため、構成員から情報提供等を行った。		塾生の農業技術や知識の向上。また、農薬や農業機械の適切な使用と管理について学んだ。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	農業について学ぶ意欲が高まり、農業に関する研修に積極的に参加している。また、農作業に従事し、より正確に作付けや経営の計画が立てられるようになった。		研修期間の半分を終え、営農に対しての意識が高まっている。今後は、卒業後の農地確保に向けて情報収集が課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	3 細目	3 細々目	明日の農業担い手育成塾事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		3,383		6,368		1,716		5,388		3,822		
決算額(B)=(C)+(D)		1,881		5,918		816						
財源※	特定財源(C)	0		0		522		411				
	一般財源(D)	1,881		5,918		294		4,977				
概算人件費(E)		3,080		4,345		4,050		3,735		3,735		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.55	0.00	0.50	0.00	0.45	0.00	0.45 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,961		10,263		4,866		9,123		7,557		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
48 /60	令和7年度の卒塾に向け、塾生には経営に力を入れてもらう必要がある。また、川口市市内での就農に向け、農業委員会事務局と協力し、就農地の情報提供を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	地域計画策定事業				担当	経済部	
						農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	0482599020	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	5	年度	～	令和	6	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興						
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法、同施行令、同施行規則						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	農業者の高齢化や人口減少に伴い耕作放棄地が拡大し、地域農地の適切な利用が懸念されるため、地域内農地の適切な利用促進を目的として、農地の集約化等に向けた取り組みを行う。		農業者及び市民が安心して農地の利用を行い、適切な利活用が可能となる地域社会を実現すること。また、農地の集約化や耕作放棄地の解消を通じて、地域農業の生産性向上と安定的な農地維持を目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・農業者及び市民等と協議を実施 ・地域計画策定		農業者や関係者の意見を収集し、計画の方向性を確認することができた。市民及び農業者における特産農業への理解や関心について現状を把握することができた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	計画的な農地利用の意識が醸成され、耕作放棄地問題に対する理解が深まった。		年度末には「地域計画」を策定し、地域農業の将来を見据えた農地の集約化や担い手の確保に向けて取り組みを進める状況にある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	3 目	4 細目	1 細々目	地域計画策定事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		0		832		111		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)		0		327		91						
財源※	特定財源(C)	0		327		90		0				
	一般財源(D)	0		0		1		0				
概算人件費(E)		0		1,738		1,620		0		0		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.22	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		2,065		1,711		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
40 /60	令和6年度3月、地域計画を策定し公告された。策定事業としてはこれをもって完了となるが、今後も協議は継続的におこない、実施状況や課題を踏まえ必要に応じて見直しを行うことを予定している。		翌年度	完了
			翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	農業金融対策事業				担当	経済部	
						農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	59	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	農業近代化資金融通法、埼玉県農業経営改善関係資金基本要綱、埼玉県農業近代化資金取扱要領、川口市補助金等交付規則、川口市農業近代化資金利子補給に関する条例、施行規則、取扱要綱、等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	農業者及び農業法人等が農業経営改善のために資金を借り入れた場合に、市が利子の一部を補給することで農業経営の向上及び生産の増強を図る。		農業経営改善計画の達成を推進するとともに、農業経営の安定及び都市農業の振興をめざす。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	令和3年度新規借入分の利子に対して補給を行った。		農業者の経済的負担が軽減された。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	農業者の経済的負担が軽減され、農業経営の安定化に寄与した。		現在申請分については滞りなく利子の補給を行っている。しかし、農業者の高齢化等により設備投資が抑制されている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	4 目	1 細目	3 細々目	農業金融対策事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		43		42		42		736		736		
決算額(B)=(C)+(D)		2		2		1						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	2		2		1		736				
概算人件費(E)		2,310		2,765		1,620		830		830		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.35	0.00	0.20	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,312		2,767		1,621		1,566		1,566	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
48 /60	ニーズを把握し、事業活用・必要性を含め検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	グリーンセンター施設運営費				担当	経済部	
						グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	グリーンセンターの円滑な施設運営を図ることで入園者へのサービス向上を図るもの。		入園者に対する効果的かつ円滑な施設運営。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	円滑な施設運営のための駐車場警備やサービス向上のためのフィールドアスレチックの運営等 施設運営に必要な物品の借上げ及び購入		・フィールドアスレチック施設利用者数 46,487人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	円滑な施設運営を図ることができ、入園者へのサービス向上を図ることができた。		人件費高騰に伴う施設運営や業務委託内容の見直し。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	5 目	3 細目	1 細々目	グリーンセンター施設運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		36,822		39,279		34,947		35,256		35,256
決算額(B)=(C)+(D)		36,086		39,075		34,746				
財源※	特定財源(C)	26,328		22,656		21,527		22,020		
	一般財源(D)	9,758		16,419		13,219		13,236		
概算人件費(E)		1,617		1,659		1,701		1,743		1,743
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		37,703		40,734		36,447		36,999		36,999

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	業務委託に係る人件費は年々上昇しており、今後、予算の削減に伴う人員削減等が起ると、サービスや安全性の低下が懸念される。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	イベント広報事業				担当	経済部	
						グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民へ緑と憩いの場を提供し、心身の健康増進に資するとともに、緑化意識の高揚を図り、来園者数の増加と本市の知名度向上につなげる。		心身の健康増進や植物への興味を持つ機会の提供。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	植物の展示会 桜草展・菊花展・椿展等 その他イベント かけっこ教室・パークヨガ・ナイトガーデン等 園芸教室 花の寄せ植え・果樹の育て方・盆栽の管理方法 子どもネイチャー教室 カブト虫を育てよう		・イベント開催数 17回 ・園芸教室開催数及び受講者数 19回 253人 ・子どもネイチャー教室開催数及び参加者数 5回 74人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	入園者に憩いの場や家族等とのふれあいの場を提供し、心身の健康増進に資することができた。 園芸教室等では、多くの市民に対し、多種多様な植物等への興味や関心を促し知識を広めることができた。		入園者のニーズを的確に捉えたイベントの研究・検討。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	5 目	3 細目	2 細々目	イベント広報事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		2,091		2,091		6,111		4,238		4,238
決算額(B)=(C)+(D)		2,033		2,025		6,015				
財源※	特定財源(C)	2,025		2,025		2,573		2,719		
	一般財源(D)	8		0		3,442		1,519		
概算人件費(E)		30,800		31,600		32,400		33,200		33,200
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	32,833		33,625		38,415		37,438		37,438

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	子どもを含めた若者世代が植物に興味や関心を持つことができるイベントを開催できるよう、市民(入園者)のニーズを的確に捉えたイベントの研究・検討を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	わんぱく広場遊園事業				担当	経済部	
						グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	入園者のサービス向上及び安全性維持のため、わんぱく広場の施設維持及び管理運営を行うもの。		安全かつ入園者のニーズに沿ったわんぱく広場の提供。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	ミニ鉄道の保守運行管理 わんぱく広場の清掃、樹木、芝生等の管理及び遊具の安全な使用に関する監視等 わんぱく広場内の管理運営		・ミニ鉄道利用者数 179,480人 ・展望スベリ台利用者数 264,326人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	わんぱく広場において、安全・安心な施設維持及び管理運営ができた。		人件費等高騰に伴う施設運営や業務委託内容の見直し。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	5 目	3 細目	3 細々目	わんぱく広場遊園事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		44,001		48,465		51,982		48,142		48,142
決算額(B)=(C)+(D)		43,599		48,196		51,562				
財源※	特定財源(C)	39,028		34,671		36,657		36,035		
	一般財源(D)	4,571		13,525		14,905		12,107		
概算人件費(E)		11,550		11,850		12,150		12,450		12,450
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		55,149		60,046		63,712		60,592		60,592

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	施設等の老朽化が顕著であり、小規模修繕等では対応できないことが多くなっている。 人気施設であるミニ鉄道は、今後、大規模修繕が必要になることから、活性化基本計画を受け、整備・改修時期を検討し、適正な更新・修繕を実施していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	植物園花木展示事業				担当	経済部	
						グリーンセンター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	季節の植栽・展示を行い、入園者の緑化意識の高揚を図るもの。		緑化意識高揚に寄与する環境の提供。市民へ憩いの場所の提供。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	園内の樹木・芝生・花壇等の維持管理 ラン類並びに熱帯植物、およびサクラソウ・ツバキ等の古典園芸植物の品種保存および展示会の開催 園芸相談やガイドツアーの実施 植物管理委託等の業務設計・指導・監督等		・展示会開催時入園者数(桜草展38,461人、洋蘭展示会12,990人椿展13,020人) ・園芸相談実施件数 599件 ・ガイドツアー実施回数及び参加者数 18回 129人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	入園者へ四季折々の植物展示や適切な植栽管理等を行うことができ、緑化意識の高揚および緑化知識の向上を図ることができた。		人件費高騰に伴う業務委託内容の見直し。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	5 目	3 細目	4 細々目	植物園花木展示事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		88,258		94,595		104,869		109,103		109,103
決算額(B)=(C)+(D)		87,637		92,078		99,864				
財源※	特定財源(C)	19,202		28,736		30,245		30,079		
	一般財源(D)	68,435		63,342		69,619		79,024		
概算人件費(E)		38,500		63,200		64,800		66,400		66,400
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	8.00	0.00	8.00	0.00	8.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		126,137		155,278		164,664		175,503	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	改修事業の途中で、植物の栽培・展示環境の改善が求められている。 公開休止中の温室の植物を屋外で展示するコーナーを設けるなど、植物園としての魅力を損なわない方法を検討・実施していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	農地基本台帳管理費				担当	農業委員会事務局
						農業委員会事務局
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110(10330)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等	農地法第52条の2に備え、整備するもの					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	農地の状況、農家世帯の情報及び農家の経営状況等を電子データ化し、農地に関する情報の整理を図る	所有者の氏名及び住所、農地の地番、地目、面積、賃借権等を記録した農地台帳を整備する	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・市内農家等を対象に、農地基本台帳整備に係る調査を実施 ・固定資産課税台帳及び住民基本台帳との照合を行うなど、農地基本台帳管理システムの保守委託を実施	・農地基本台帳整備に係る調査 農家戸数977戸、回収率85.8% ・固定資産税課税台帳及び住民基本台帳との照合 年1回実施	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・農地台帳の正確な記録の確保	・引き続き毎年1回の調査及び照合を実施し、正確な記録の確保を図る	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	6 款	1 項	1 目	2 細目	2 細々目	農地基本台帳管理費	
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		1,602	1,932		1,950		1,334		1,382
決算額(B)=(C)+(D)		1,497	1,738		1,583				
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0		
	一般財源(D)	1,497	1,738		1,583		1,334		
概算人件費(E)		3,465	4,108		3,240		3,320		3,320
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.52	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,962	5,846		4,823		4,654		4,702

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	農地法第52条の2に基づき、農地台帳の作成は必須であることから、本事業は引き続き実施していく必要がある。なお、国が提供する農業委員会サポートシステムの運用が今後一層進めば一元化によるコスト削減の可能性もあるため動向を注視していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	農政関係広報事業				担当	農業委員会事務局
						農業委員会事務局
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110(10330)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	51	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-① 都市農業の振興					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市内外の農業に関する情報について、各農家及び関係機関に発信するとともに、市民の農の理解を促進する		農業だよりを発行し、農業委員の紹介、法改正情報、多様な都市農業や農業者の取り組みなど農業に関する情報を提供する	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・農業だよりの発行		・農業だよりの発行 年2回(7月、12月) 8頁 2000部作成	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・農業、農地等に関する最新情報について取得		・農業委員の紹介や法改正情報に加えて、新規就農者情報、農業者による体験農園等の取り組み、他市都市農業事例、川口産農産物を使った各店舗情報などの提供を図る	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	1 目	2 細目	3 細々目	農政関係広報事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		183		268		381		283		369
決算額(B)=(C)+(D)		168		240		303				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	168		240		303		283		
概算人件費(E)		1,694		1,817		1,377		1,411		1,411
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.22	0.00	0.23	0.00	0.17	0.00	0.17
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,862		2,057		1,680		1,694		1,780

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	各農家への情報提供の手段として引き続き必要な事業である。多様な情報掲載を行い、読みたくするような紙面構成となるよう工夫をしていくことが必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施



実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	地域農業活性化事業				担当	経済部
						農政課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-② 都市農地の保全					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、地域農業活性化事業交付金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	農業関係団体等の活動を支援することにより、地域農業の活性化を図る。	地場産業である緑化産業の活性化を図るとともに、特産農産物の普及や販売促進をめざす。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	農業関係団体等が実施する事業に対して、交付金を交付した。	・農業関係団体が主催する研修及び調査等に対する支援 ・農業祭開催事業及び緑と大地の豊年まつり開催事業に対する支援 ・農業協同組合が実施する市民農園の開設及び運営管理に対する支援 ・農業関係団体等が行うブランド化事業に対する支援	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	経済的負担が軽減されたため、対象事業を円滑に行った。	近年、補助対象事業の縮小や中止が増えている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑と大地の豊年まつり来場者数				指標・目標値の説明(算定式)	前回実績値と同程度(令和7年度より未開催)				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		22,400.00		22,400.00		26,700.00		0.00		0.00	
	実績値・達成状況	0.00	—	26,744.00	達成	14,482.00	未達成				
指標②	名称	市民農園区画数				指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画後期基本計画目標指標(令和3年度から)				
	単位	区画	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		951.00		951.00		951.00		951.00		951.00	
	実績値・達成状況	921.00	未達成	921.00	未達成	857.00	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6 款	1 項	4 目	1 細目	1 細々目	地域農業活性化事業			
年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)	5,034	10,923		10,715		7,330		7,330		
決算額(B)=(C)+(D)	3,626	9,796		9,450						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	3,626		9,796		9,450		7,330		
概算人件費(E)		5,390		5,135		7,290		6,225		6,225
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.65	0.00	0.90	0.00	0.75	0.00
	非常勤									
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,016	14,931		16,740		13,555		13,555		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	ニーズに合った事業内容の検討並びに農業者及び農業関係団体に対して制度の周知が必要である。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	農業体験事業				担当	経済部	
						農政課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7249	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-4 魅力ある農業の振興-② 都市農地の保全					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民の農への理解を促進するため、初心者で野菜づくりを楽しみたい方を対象に、野菜づくりの知識とコツを学ぶ講習会を開催する。		農あるライフスタイルの推進とともに、市民の農に対する理解促進を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	家庭菜園の基礎について学ぶ講習会を開催 第1回 令和6年9月8日(日)10:00～12:00 28人 第2回 令和7年2月1日(土)10:00～12:00 29人  令和6年度からはより多くのかたが参加できるよう、開催地域の見直しを実施した。		家庭菜園に興味はあるが、知識が無く始められなかった方や、自己流で野菜づくりが思い通りにできなかった方へ知識やコツを学ぶ機会を提供した。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	野菜づくりへの理解が深まり、家庭菜園を始める方が増えた。また、受講前よりも楽しく野菜づくりに取り組む方が増えた。		受講後のアンケートでは受講者から好評を博している。今後も、より多くの方に受講してもらえるよう計画する必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		6 款	1 項	2 目	4 細目	1 細々目	農業体験事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		139		191		204		145		145
決算額(B)=(C)+(D)		84		126		91				
財源※	特定財源(C)	28		32		28		30		
	一般財源(D)	56		94		63		115		
概算人件費(E)		1,155		2,370		2,430		2,490		2,490
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,239		2,496		2,521		2,635		2,635

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	市民等の都市農業への理解促進と「農ある暮らし」を推進するため、より多くの方に参加してもらえるよう開催地域の変更や、参加者のニーズに合った講義内容を検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施